

2020年7月4日球磨川豪雨災害

国交省の

ウソ

ホント

市民の見た

川辺川ダム編

2020年7月豪雨災害の検証と流水型川辺川ダムについて国土交通省の説明のウソを解説します。

ウソ

流水型ダムだから環境にやさしい。



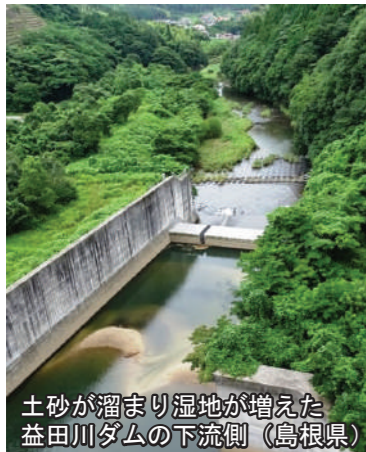
ホント

すでに完成した流水型ダムでは深刻な環境悪化が進んでいる

大きな構造物が川にできれば、自然環境に影響があることは国交省も認めています。流水型（穴あき）ダムであっても水の流れを妨げることに違いはなく、生き物の往来もできなくなり、水質は悪化します。

国は「アユなど、川のすべての生き物がダムの穴を移動できるようにする」としています。しかし、それを裏付ける実際のデータは一切示されておらず、あくまで「シミュレーション」の話に過ぎません。全国の流水型ダムでは、ダム完成後にアユなどが激減し、濁りが長期化するようになりました。上流や下流に土砂が堆積して草が生え、生態系も景観も大きく変わってしまっています。国が説明するように「ダム完成後もアユや生き物の生息状況が変化しない」「環境影響は少ない」など決してあり得ません。

アユやヤマメが減れば川漁師は生計を立てられなくなり、全国から流域を訪れている釣り客は消え、観光産業や地域経済に大きな打撃となります。川辺川は「清流日本一」ではなくなり、球磨川は変わり果てた姿になるでしょう。



土砂が溜まり湿地が増えた益田川ダムの下流側（鳥根県）



運用開始直後から土砂が溜まり、濁りが長期化するようになった最上小国川ダム上流側（山形県）

写真：最上小国川の清流を守る会

ウソ

川辺川ダムがあれば、人吉市の被害の6割は無かった。

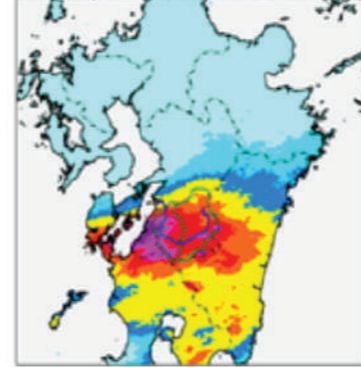


ホント

川辺川ダムがあったとしても、被害の6割減少などありえない

7.4 球磨川豪雨災害の原因となった線状降水帯は、天草市牛深方面から水俣市、芦北町から球磨村の最深部に至り、一部分かれて市房ダムの上流部にかかり、大雨を降らせました。しかし、川辺川ダムの集水域である五木・五家荘にはこの線状降水帯はかからず、川辺川上流部にはあまり雨は降っていませんでした。7.4 球磨川豪雨での、川辺川の水による下流の人吉市の被害への影響は微々たるものです。たとえ川辺川ダムがあったとしても、被害の6割減少などあり得ず、川辺川ダムによる人吉市の治水効果を過剰に印象づけるための、作為的なシミュレーションです。

48時間雨量最大値



2020年7月3日0時～4日24時までの48時間雨量最大値。川辺川上流より球磨川本流中流部に豪雨が集中した。（日本気象協会HPより）

ウソ

支流の氾濫は球磨川本流の水位上昇によるバックウォーターが原因。だから川辺川ダムで本流水位を下げれば良い。



ホント

本流より先に支流が氾濫。ダムがあっても支流氾濫は防げない

「本流の水位が上がったために、支流が合流点でせき止められ、逆流して氾濫した」「川辺川ダムで本流の水位を下げれば、本流も支流も氾濫しない」というのが、国交省のバックウォーター説です。

しかし、山田川など球磨川支流の氾濫は、午前6時頃から始まり午前6時半から午前7時過ぎにピークに達しました。詳細な調査の結果、人吉で亡くなった20名の方々はすべて支流氾濫によるもので、亡くなった時間は午前7～8時と推定されています。これは、球磨川本流がピーク流量に達する午前10時頃より、2時間以上前。時間や水の流れた方向を考えると、バックウォーターによる氾濫だけが原因とは考えられません。

球磨村、芦北町、八代市坂本町でも同様に、本流がピークに達する前の午前7～8時の間に、支流氾濫が原因で亡くなっていると推定される方がほとんど。川辺川ダムで本流の水位を下げても、支流氾濫は防げません。

ウソ

人吉市でのピーク流量は7,400m³/秒



ホント

実際は10,000m³/秒以上。7,400m³/秒はダム建設を正当化するため過小見積もり

国交省による豪雨災害時の推定ピーク流量は、実態に対してあまりに少な過ぎます。専門家からは10,000 m³ / 秒以上だと指摘もあります。国交省が実態より少なく見積もっているのは、7,400 m³ / 秒より大きな流量だったことを認めると、例えば川辺川ダムがあっても洪水を防げなかったことになり、国交省にとって都合が悪いから。「市房ダムと川辺川ダムがあれば、安全に流れる」とし、川辺川ダムの必要性を正当化するための国のウソです。

ウソ

球磨川第4橋梁と洪水は関係ない。

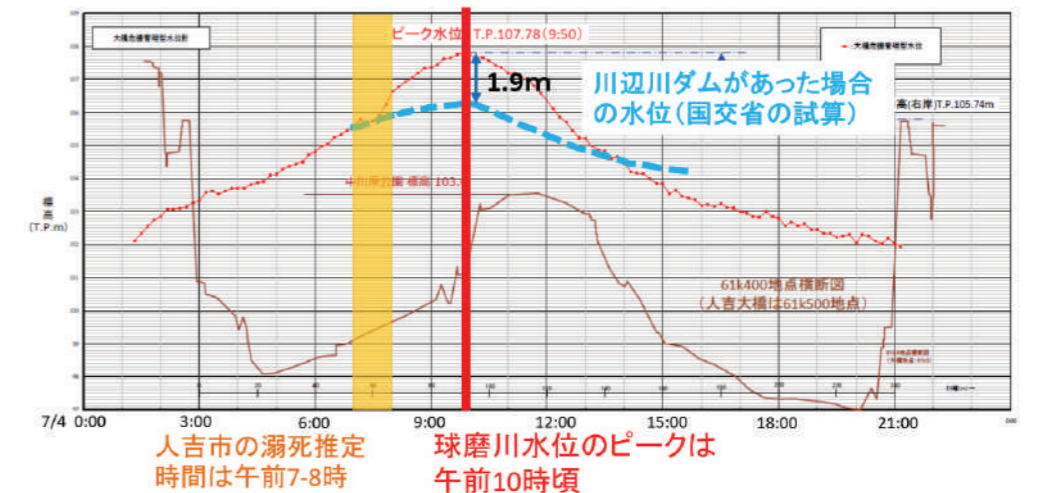


ホント

第4橋梁がダム化・崩壊したため下流では大洪水が発生

7.4 豪雨災害の前日、球磨川と川辺川に挟まれた合流点の土地には、製材した材木が大量に置かれていました。これらが水害当日、氾濫で一斉に流され、上流からの流木や草とともに200mほど下流の球磨川第4橋梁に引っ掛かり、下流に水が流れなくなり、水が溜まって一時的にダムのような状態になりました。やがて溜まった水の圧力によって、午前9時頃、大きな音と共に橋は倒壊し、貯まっていた水が鉄砲水となって人吉市ほか下流を襲ったと、多くの証言や痕跡から推定されます。しかし、このことに国交省も県も一切触れようとしません。球磨川豪雨災害の被害拡大には、第4橋梁ダム化や支流氾濫、山や土地利用の問題などさまざまな要因がありますが、国交省は十分に検証をせず、「上流に川辺川ダムを作れば良い」と単純化し、結論付けています。

人吉市内溺死者の推定溺死時間と、人吉地点での球磨川本流のピーク水位、川辺川ダムによる水位低減効果（国交省試算）の時間的配置



「第2回令和2年7月球磨川豪雨検証委員会説明資料」69頁に加筆

2020年7月4日球磨川豪雨災害

電源開発の

ウソ ホント

市民の見た

瀬戸石ダム編

2020年球磨川豪雨災害と瀬戸石ダムとの関係について、電源開発株式会社（j-power、以下電源開発）の説明のウソを解説します。

ウソ 瀬戸石ダムによる水位上昇はなかった。



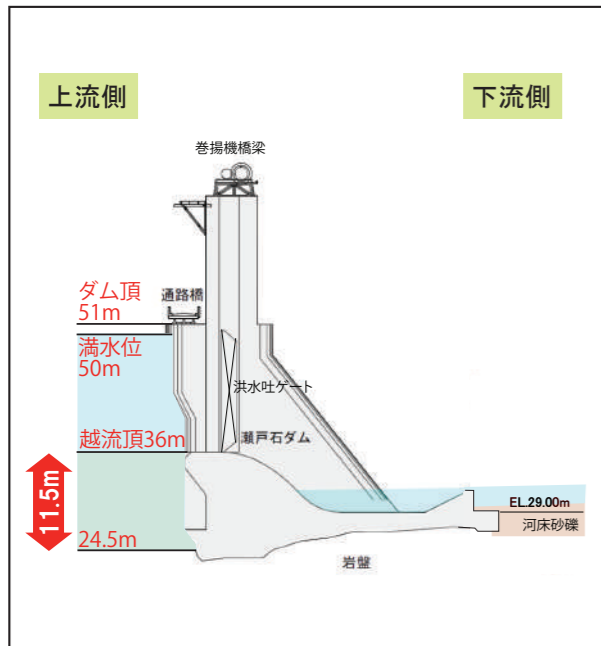
2020年7月4日球磨川豪雨時の瀬戸石ダム

ホント 瀬戸石ダムによって、約7mも水位が上昇した。

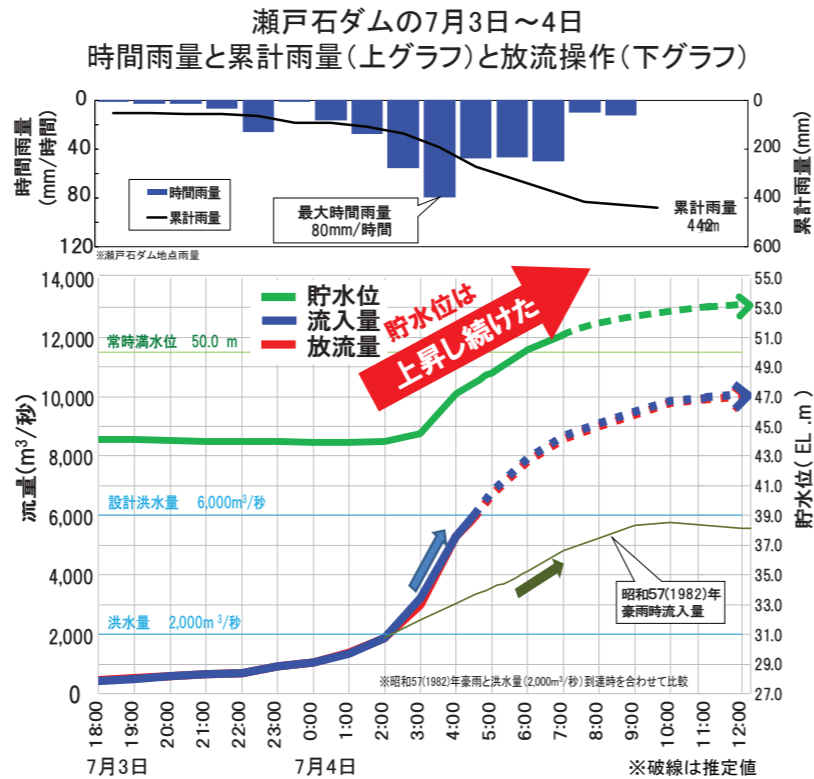
ダムを管理運営する電源開発は、7.4 豪雨災害時「瀬戸石ダムによる水位上昇はなかった」とし、国交省もそれを追認しています。しかし住民側の調査では、もし瀬戸石ダムが無かったとしたら、ダムの上流では水位が最大約 6.8m 下がること明らかにされています。つまり逆に言えば、ダムがあったために7m近くも水位が上昇したことになります。

ダムが流域住民の安全安心な生活を害する存在であることを覆い隠し、瀬戸石ダムを存続させ、川辺川に予定している新たなダム建設の障害にならないようにするための、電源開発と国交省のウソです。

瀬戸石ダム断面イメージ



瀬戸石ダムがあることで、ゲートを開放しても本来の川より10m以上河床が上がっている



実際には、ゲート全開後も水位は上昇していたことが電源開発公表の水位データからも明らかに

電源開発の資料を元に作成

ウソ

豪雨災害時、瀬戸石ダムはゲートをすべて開放し、自然河川に近い状態だった。



ホント ゲートを開放しても流れが阻害され、下流の被害を拡大。

「7.4 豪雨災害時、瀬戸石ダムはゲートをすべて開放し、自然河川に近い状態になった」と電源開発は主張しています。

しかし、そもそもダムができる前に比べて川幅は6割以下になっているため、どんなにゲートを開けたからと言っても、ダムのない頃の自然河川に近くなったとは到底言えません。しかも、狭められた川の中でダムの構造物自体が川の流れを阻害し、その割合は約3分の2とも言われています。このことにより水の流れがさえぎられ、ダム湖には大量の水が溜まり、ゲートからはその圧力で極めて強い勢いで水が放流され、下流の建造物などを跡形もなく流し去りました。



下流側ではすさまじい勢いで水が流れ、壊滅的被害が発生。上流側では徐々に水位が上がり、土砂が水平に堆積した

ウソ

瀬戸石ダムは黒字である。



ホント 売電収入に対して、堆積土砂の撤去費用だけでも大赤字

電源開発は、瀬戸石ダム単体で見ると黒字であると主張しています。しかし、瀬戸石ダムの売電収入は、推定年間1億2000万円。瀬戸石ダムに関係する支出のうち、電源開発が毎年行っているダム湖にたまった土砂撤去費用は最低でも約3億円に上るとみられ、ダムの収支は完全な赤字と推測されます。

黒字と主張する理由は、ダム単体では黒字であると思わせかけ、株主などのステークホルダーにダムの撤去を求めさせないようにするため。収支に厳しい民間企業がこのような赤字のダムをなぜ存続させるのか、その理由は不明です。



瀬戸石ダムは、国の検査で土砂堆積による危険性が指摘されてきた全国有数の「堆砂量が多い」ダム

売電収入 1億2000万円 < たまった土砂撤去費用だけでも約3億円



知ることからはじめよう



国や県、電源開発、それをそのまま掲載するメディア報道には、事実と異なる情報も混ざっています。ぜひ「本当のこと」を知って下さい。そして球磨川流域の川とともにある未来を、私たちといっしょに考えてみませんか。

子守唄の里・五木を育む 清流川辺川を守る県民の会

〒860-0073 熊本市西区島崎4-5-13
TEL:090-2505-3880
<https://kawabegawa.jp/>
Email: info@kawabegawa.jp

瀬戸石ダムを撤去する会
〒866-0831熊本県八代市萩原町1-2-7
喫茶店「ミック」気付
TEL:080-3999-9928
Email: info-setoishi@kawabegawa.jp